

報告第20号

令和2年度一般財団法人宇治市文化財愛護協会経営評価の報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条第1項の規定に基づき、令和2年度一般財団法人宇治市文化財愛護協会経営評価について、別紙のとおり報告する。

令和3年9月16日提出

宇治市長 松村 淳子

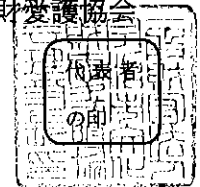
令和3年7月16日

宇治市長 松村 淳子 様

所在地 宇治市宇治琵琶33

法人名 一般財団法人宇治市文化財愛護協会

代表者名 吉水利明



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第4条第2項に基づき、次のとおり報告します。

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	一般財団法人宇治市文化財愛護協会	設立年月日	昭和49年1月26日
一般財団法人への移行年月日			平成25年7月1日
基本財産	4,500千円 (移行前4,500千円うち市出えん・出資額1,500千円出資比率33.3%)		
設立目的	宇治市の歴史的風土・自然環境の保護育成のため、ひろく文化財愛護及び生活環境の保全につとめ、もって市民の文化の向上に寄与することを目的とする。		

2. 役職員等の状況

		平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員等	常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤	20	1	6	20	1	6	17	1	7
職員	管理職	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般職	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1名でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
文化財の調査・研究・刊行等に関する事業	宇治市内で伝承される祭事の見学と講義。宇治市内の歴史散策。宇治市内の古跡等の保全整備。文化財等の資料の収集及び冊子の刊行。
自然環境の調査・研究等に関する事業	文化財や自然を訪問し、その保全の重要性と今後の方向性を学び、宇治市内の自然環境の育成・保全につなげる。
文化教養の向上に関する事業	文化財見学会、伝統芸能の鑑賞会等により、文化財に対する意識の高揚を図る。
文化財愛護の普及に関する事業	「会報」及び「文愛協だより」を発行し、文化財愛護活動の普及を図る。

4. 財務状況

1) 正味財産の状況

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
収 益	1,179,033	807,700	269,090
収益事業収益等	1,129,033	757,700	269,090
市 支 出 金	50,000	50,000	0
人 件 費	0	0	0
事 業 費	50,000	50,000	0
費 用	1,779,604	1,257,048	434,197
人 件 費	0	0	0
事 業 費	1,779,604	1,257,048	434,197
当期経常増減額	△600,571	△449,348	△165,107
当期正味財産増減額	△600,571	△449,348	△165,107
期末正味財産合計額	11,509,084	11,059,736	10,894,629

2) 貸借対照表

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
資産合計	11,509,084	11,059,736	10,894,629
流動資産	2,009,084	2,559,736	2,394,629
固定資産	9,500,000	8,500,000	8,500,000
負債合計	0	0	0
流動負債	0	0	0
固定負債	0	0	0
正味財産合計	11,509,084	11,059,736	10,894,629
基本財産	4,500,000	4,500,000	4,500,000
その他正味財産	7,009,084	6,559,736	6,394,629

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年 度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
補 助 金	0	0	0
委 託 料	50,000	50,000	0
その他(分担金等)	0	0	0
計	50,000	50,000	0
貸 付 金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
人件費比率	人件費計÷費用	0%	0%	0%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	100%	100%	100%
流動比率	流動資産÷流動負債	0%	0%	0%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	—%	—%	—%

5. 経営評価（法人自己評価）

視点	評価	コメント
目的適合性	B	宇治市内における有形無形の文化財を愛護するとともに、自然環境の保全、市民文化の向上を図るため、歴史・文化・文化財、自然環境などに関する見学会、刊行物の発行、研修会等、その目的に合致した事業を計画している。 しかし、令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、多くの事業を中止せざるを得なかった。
効率性	B	事務局の専任体制はないが、4部会を設け、理事が中心となってそれぞれ責任者を定めて各事業の計画立案、実施を担当しており、小規模ながら効率的に事業運営を行っている。
組織運営健全性	B	理事会・評議員会は、宇治市の歴史・文化・文化財・自然環境等に造詣の深い人を中心に構成されており、定例理事会（年2回）と定時評議員会の他、随時会議も開き、事業計画や事業の執行に係る協議、確認を行っている。また、監督官庁の京都府に公益目的支出計画実施報告書等を提出し、京都府の指導も受けながら活動の目的に沿った健全な組織運営を行っている。なお、退任役員の後任補充ができず、厳しい体制となっている。
財務健全性	B	一般財団法人への移行時に、京都府の指導を受けながら「公益目的支出計画」を策定し、一般財団法人として認可され、公益目的財産額が確定した。 この計画に沿った事業を実施し、健全な財政運営を行っている。
総合評価	B	一般財団法人への移行を契機に、法人の独自活動はもとより、京都文教大学や宇治市源氏物語ミュージアムとも連携し、活動の範囲を広げ、より市民に親しまれる取り組みを進め、また、経営面では、京都府の指導を受けながら進めており、現状では、法人運営は、ほぼ良好と自己評価する。

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い